

について、県教育委員会から実施する目的をどのように説明を受けたのか伺う。

教育長 東日本大震災後の子どもたちの心のケアを行うために、潜在的なPTSD等の把握等を行うと、説明を受けています。

アンケートの説明は

問 「このアンケート調査は個人情報を考えてのアンケートなのか」「子どもの人権を考えてのアンケートなのか」などの意見が寄せられている。納得できる説明を行ったのか伺う。

教育長 教育委員会には質問等はありませんので、質問に答えることはなかったわけです。

問 アンケート用紙には、例えば「よくほかの子どもとけんかしたり、いじめたりする」「よくうそをついたりごまかしたりする」「家や学校、その他から物を盗んだりする」等の質問があるが、疑問はこなかったのか伺う。

教育長 もしおかしいと思っただら拒否すると思いません。それは個人の自由です。

新高校入試制度



櫻井 隆

問 平成25年度の前期入試選抜に限り、2、3年時の学習成果だけを評価するに至った経緯を伺う。

教育長 現在の受験生が2年時の平成23年度に、出願できる条件の方向性が定まりました。そこで、25年度の前期入試選抜に限り、出願できる条件を2、3年時に限定したわけです。

受験資格への対策を

問 平成25年度の前期選抜に出願書を提出後、資格審査で受験資格を得られない事例が生じると想定される。出願者全員が受験資格を得られる対策が必要ではないか。

教育長 対策の一つ目は、事前進路説明会や面談等で繰り返し生徒や保護者へ丁寧に説明をすること。二つ目は、記入した志願理由書をしつかりと点検すること。三つ目は、基準に満た

ない場合には出願させないことの三点です。

問 資格確認の対象とする条件に「英検3級以上」「数学検定3級以上」「漢検3級以上」等を選択項目として課している高校がある。生徒の合格率を上げるために、検定試験の一部補助を行い検定試験の機会を増やしてはどうか。

教育長 生徒の高校合格率を上げるためだけの目的で、資格検定試験に対して補助を行うことは、現時点では難しいと考えます。

東部地区の土地利用計画



佐藤 一郎

問 集団移転地、玉浦小・中学区内を魅力あるまちにするために、若者世代が住む政策を考えてはどうか。

市長 玉浦西地区まちづくり検討委員会に若い世代の方も入っていただき、魅力あるまちづくりを考えていただいています。また、子

育て支援や教育施策はどうあるべきか、福祉の方はどうか、雇用の場をどう確保するかなどを総合的に取り組むよう努力し、その結果が魅力的なまちづくりにつながるものと思います。

エネルギーパークを

問 貞山堀東側の二野倉工業団地に隣接している二野倉地区を再生可能エネルギーパークとして検討してはどうか。

市長 ご提案の二野倉地区は移転促進区域として市で買い取る予定地などがあり、再生可能エネルギーパークとして位置付けるには、まず今後の進捗状況を



二野倉工業団地付近

見ながら土地利用の在り方を検討したいと考えます。

問 仙台空港と国際医療産業都市などを連携させ、自然観光農園など健康野菜、産直レストランなど新たな産業の構築・奨励策を推進してはどうか。

市長 農業生産の高付加価値化と多角経営化の手段として有効だと考えます。新たな形で農業振興を十分踏まえて、農家の皆さまのご協力を頂き検討し、具現化していきたいと思えます。

防災集団移転促進事業



飯塚 悦男

問 6月21日に「集団移転に関する新たな候補地についての請願」は議会で不採択になった。7世帯が朝日土地区画整理地内への集団移転を求めている。市長の考えを伺う。

市長 東部地区の方たちは玉浦の再生、新しいまちをつくっていくとの思いがあ